

さいたま市議会

令和2年2月定例会(2/4~3/19)のご報告

さいたま市誕生20周年に向け、 「市民の日」(5月1日)、市民憲章の制定を提案!

【市長答弁】令和3年は本市誕生20周年を迎える記念すべき年であるとともに、新たなるさいたま市の創造という次のステージが始まる年であり、この記念すべき年に、市民憲章や市民の日を制定することが望ましいと考えております。
市民憲章及び市民の日につきましては、市政施行20周年での制定に向けて、必要な検討を進めてまいります。



(予算委員会より)

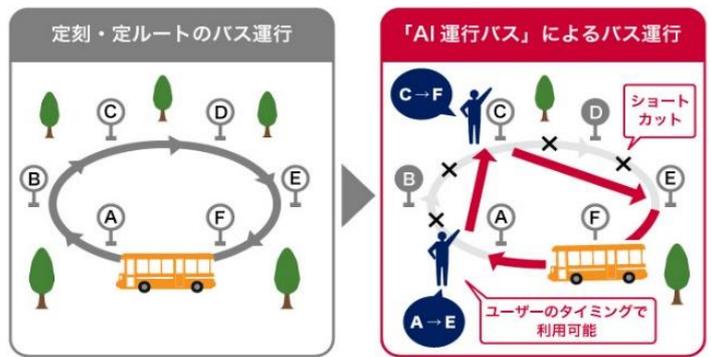
市民の日は、市立小中高等学校を休業に!

【教育長答弁】市民の日が制定された場合には、学校を休みとするなど特別な日とすることについて検討を進めてまいります。

令和3年度 AI 運行バスの実証実験へ!

「AI 運行バス」とは、乗りたいときに行きたい場所まで、自由に移動できるオンデマンド型公共交通システムです。AI(人工知能)を使い、リアルタイムに発生する「乗降リクエスト」から、最適な乗り合わせを判断し、「車両配車+運行の指示」を行うことにより、利用者にとって効率的な移動を実現します。

AIを活用したデマンド型乗合バスの実証運行がついに実現!



**乗りたいときに、乗りたい場所で、
誰でも簡単に乗車予約。**

高齢者のおでかけを全力サポート

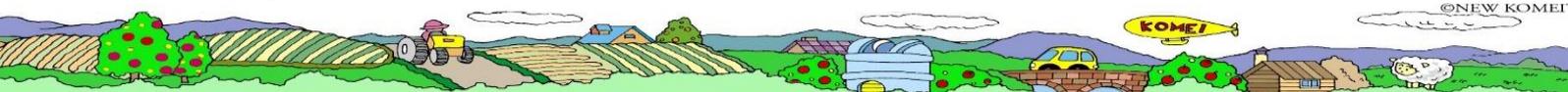
スマホアプリ AI まちかど端末 電話

バスが来たら乗車

XXで2名乗車

※バス停での乗車又は、あらかじめ予約登録した地点からの乗車が可能

利用者の移動に必要な乗降ポイント間のみを走行するため効率的な運行が期待されます。利用者の有無にかかわらず定時・定路線を走るバスなどに比べ、利用のない区間の走行が不要になるため走行距離や運行時間の効率化も見込めます。なお、実証実験の実施場所については未定となっています。



令和3年、三室小・中尾小の和式トイレを改修へ。

三室小学校や中尾小学校の保護者からは、学校のトイレについて「臭い」「汚い」「女子トイレでは行列ができています」等、改善を求める声が多数寄せられていました。これらを受け、再三に渡って和式トイレの早期改修を議会で主張してきたことがこの程決定しました。

当初予算審査では、令和2年度に実施設計を行い、令和3年度に改修工事となっています。工事が完了すると、三室小では洋式化率が34.2%から74%へ。中尾小学校では洋式化率が26.6%から67%に上昇することになります。

小中学校のトイレの改修率が一日も早く100%となるよう引き続き取り組んでまいります。



(改修された学校トイレ)

新生児の聴覚検査を助成へ。

生まれつき聴覚に異常があり、適切な支援が必要な新生児は500~1000人に1人いると言われています。聴覚の異常が早期に発見できれば、専門家の適切な支援を受け、言葉やコミュニケーション能力の発達を促すことができます。

これまで聴覚検査は全額自己負担となっていました。公明党の提案で助成されることとなりました。

産後ケア（宿泊型・ デイサービス）を導入へ。

核家族化により出産後ひとりで子育てをする方が増えています。産後に心身の不調や育児不安があり、十分な育児支援を受けられない方を対象に、心身のケアや育児サポート等を行い、産後うつや育児不安の解消を図る宿泊型・デイサービス型産後ケア事業が、10月から始まります。

同サービスの実施は、公明党が繰り返し実施を求めてきたものです。



地球温暖化対策へ、「気候非常事態宣言」を提案。

【質問】さいたま市は、2019年にSDGs達成に向けて、先導的な取り組みを実施する「SDGs未来都市」として国から選定されました。基礎自治体である市町村を牽引してゆく使命を担った政令市として、いまこそ「気候非常事態」を宣言すべきと考えますが見解をお聞かせください。

【副市長答弁】「気候非常事態宣言」につきましては、欧米を中心に世界的な動きとして広まっており、国内においても宣言をしている自治体があることを認識しております。本市においても、取り組み姿勢の対外的発信は重要であると考えており、議員ご提案の宣言も含め、その手法及び発信時期について、検討してまいります。

※気候非常事態とは、環境・気候が非常事態にあることを自治体などが宣言し、地球温暖化対策に社会の総力を挙げて取り組む決意を示すものです。